



伝嗣院の散りゆく桜 (南アルプス市)

## 笑顔 スナップ!

【高原病院】 高原会の理念である、日本一やさしい医療と介護の提供を目指し、患者さん一人一人にしっかりと向き合い、心を込めた看護を提供しています。



▲外来看護スタッフ



▲日々の援助風景



▲患者カンファレンス風景



▲病棟看護スタッフ

## Contents

新型コロナウイルス感染症に係る ナースセンターの取り組み	2
2020年度 山梨看護学会開催報告	3
特集コロナに負けるないま私たちにできること	4~5
うちの職場自慢 その62	6
シリーズ 看護研究のコツNo.23	6
ナースのママ・パパ奮闘記 No.49	7
Topic&Information	7
令和2年度 理事会報告	8
INFORMATION／編集後記	8

看護職のあなたをサポート  
会員特典もいろいろ!!

山梨県看護協会への  
入会手続きはお早めに!!







# 新型コロナウイルス感染症に係る ナースセンターの取り組み



山梨県ナースセンターでは、日頃の業務に加え今般の新型コロナウイルス感染症対策に係る看護職員を確保するため、潜在看護職の方を対象に、「軽症者宿泊療養施設」「PCR検査」「保健所での電話相談業務」などの求人紹介を行っています。多くの方にご理解をいただき、各分野に従事していただくことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

継続して、今後の求人へ対応できるように事前登録を行っていますので、潜在看護職の方また、協会ニュースをご覧のみなさまのご友人やお知り合いにお声掛けをいただき、登録をしていただけますようお願いいたします。

## ▶山梨県ナースセンターでの潜在看護職就業状況◀

- \*軽症者宿泊療養施設(ホテル療養)就業 8人(令和2年9月～)
- \*PCR検査就業 1人(令和2年9月～)
- \*保健所における電話相談等業務就業 17人(令和2年4月～)

新型コロナウイルス感染症の収束は先が見えず、ワクチン接種が開始されましたが、医療機関及び宿泊療養施設(ホテル)等における感染者対応や受診・相談センター(保健所)等での対応等、地域の新型コロナウイルス感染症対策において看護職員の存在が求められていくことと思います。

地域に必要な医療提供等を継続するために看護職員の確保・派遣調整を行うことを目的に、潜在看護師等向け「感染症対策に係るスキルギャップ解消のためのDVD」を作成しました。

本協会では、日本看護協会「地域の医療提供確保のための看護職員の派遣調整事業」を活用して、潜在看護師がスムーズに復職できるように、感染対策に関わるスキルギャップ解消が必要と考え、いつでもどこでも学ぶことのできる教材を作成しました。

県立中央病院総合診療科・感染症科 部長 三河貴裕医師に監修をお願いし、感染管理認定看護師5人の協力のもと、動画を作成しました。内容は、基本的な手指消毒・マスク、エプロンの着脱方法、ゾーニングなど日々現場で利用する項目ばかりです。

この動画を観て活用していただくことで、それぞれが自信をもって現場に向かうことができると思います。

潜在看護職のみならず、現場医療職にも活用できる内容です。どうぞ、一度ご覧ください。

動画の視聴は、山梨県看護協会ホームページからまたは、山梨県ナースセンターでDVDの貸し出しを行っています。興味のある方、活用したい方はご連絡ください。

## 【感染症対策の動画作成風景】



### 【問い合わせ先】

公益社団法人 山梨県看護協会  
山梨県ナースセンター  
〒400-0807 甲府市東光寺2-25-1  
TEL 055-226-0110 (直通)  
FAX 055-222-5988  
E-Mail yamanashi@nurse-center.net



感染管理認定看護師たちの、わかりやすくきびきびした行動とチームワークに、同席した撮影スタッフからも拍手が起こるほどでした。

# 2020年度 山梨看護学会を開催しました

## 開催報告

山梨看護学会委員長 河合 悦子

2020年度山梨看護学会に於きましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束に至らない現状から、初の試みとなりましたが令和2年12月7日（月）から12月25日（金）までの期間にWeb開催とさせて頂きました。学会を企画する山梨看護学会委員会では、ご参加を頂く皆様の安全を念頭に置き適切な開催方法について議論を重ねて参りました。その様な中でも県内各施設から20演題のエントリーを頂き、演者の方々にはいつもと違う発表形態で大変なご苦勞をおかけしましたが、多くの皆様のご協力を頂き無事に山梨看護学会を開催することが出来たことを深く感謝致します。

令和2年は看護にとって「フローレンス・ナイチンゲール生誕200年」という大きな節目であり、一昨年より「Nursing Now看護の力で健康な社会を！」のキャンペーンも世界的に行われておりました。そのため令和2年度の学会テーマは「看護の原点」に立ち返るとし、ナイチンゲール精神に則り看護の専門性や看護の可能性について考えることと致しました。ナイチンゲールは看護とは人間の持つ「自然治癒力」を高め、患者の生命力の消耗を最小にするように整えることと述べています。発表された全ての看護研究は、日頃の看護実践の努

力が感じられる研究でした。今年度の看護研究奨励賞はこのナイチンゲールの精神に相応しく、甲府城南病院の平山道子さん、韮崎市立病院の丸茂妙子さん、山梨県立北病院の篠田周子さんが選ばれました。授与式につきまして、例年のような形式には至りませんでした。1月13日に古屋協会長より3人の方々に奨励賞の授与が行われました。

今回の山梨看護学会はWebでの開催とさせて頂きましたが、182人と多くの皆様にご参加を頂くことが出来ました。参加して頂いた方のアンケートからは、「何度も聞くことが出来た、いつでも視聴ができるので良かった」「開催場所に行かなくても良いというメリットがある」という嬉しいご意見を頂くことが出来ました。一方「会場では他の方の、質疑応答を聞くのも勉強になる」「学会で、他施設の方と会って情報交換することも楽しみ」というようなお声も頂戴しました。今回の様なWeb開催では会場での臨場感が味わえないというデメリットがあったかと思いますが、演者の皆様の晴れやかな笑顔や、特別企画や特別講演での嬉しいお声がまた会場で響く日が来ますことを楽しみにしております。

## 2020年度山梨看護学会 看護研究奨励賞

### 受賞者3人からメッセージをいただきました

療養病棟において最  
期までその人らしさを  
支えるためのケア  
～将来的に経口摂取が  
困難になることを見据  
えたACPの実践～



甲府城南病院 平山 道子

今回の看護研究では、患者様・ご家族と人工栄養の選択について共に考えたことでその人らしさを大切にケアにつなげることが出来ました。本人の意思を知り、医療者や家族間で共有することは、本人の意思を尊重した看護となります。継続した支援や関わりを通してその人らしさを支える看護を目指していきたいと思っております。

終末期にある高齢癌  
患者への希望に沿っ  
た支援の在り方  
～good deathの  
概念を通して考える～



韮崎市立病院 丸茂 妙子

終末期にある患者、家族の希望に少しでも添えるようにするにはどうしたらよいのか、といつも悩みます。最期の時間の過ごし方、good deathとは？と自己の看護を振り返ってみました。看護の原点に戻り学んだことを今後も活かしていけるようにしていきたいです。光栄な賞を頂き本当に感謝申し上げます。

うつ病患者の自責  
感と不安の軽減に  
関する一考察  
～ストレングスマodel、  
クライシスプランを用いて～



独立行政法人 山梨県立病院機構  
山梨県立北病院 篠田 周子

完全な治癒が困難なことが多い精神疾患において、何らかの症状があったとしても、それと付き合いながら生活していく患者の「働きたい」という思いを尊重しました。

これからも、患者の力を信じて支え続けられるよう、多職種と連携していきたいです。



コロナに  
負けるな  
いま私たちに  
できること

# 新型コロナウイルス感染症に係る北海道への 看護師派遣を経験して、今伝えたいこと

山梨県から要請を受けて12月1日から12日まで  
北海道の病院へ派遣され実際に看護にあたった経験  
を伝えていただきました。

市立甲府病院 看護支援係  
鶴田文美香



新型コロナウイルスが猛威を振るう中、札幌を中心に施設や新型コロナウイルス患者を受け入れてきた病院などで集団感染が発生しました。感染拡大により施設内での療養や医療従事者の感染など、看護職員が不足し道内での看護師確保が困難な危機的状況となり、山梨県の要請を受け病院の代表として派遣に行きました。出発前の派遣先の療養型病院の情報としては、陽性患者108人（職員25人・患者83人）でしたが、勤務初日の陽性患者・職員数は累計150人との説明を受け、感染が拡大されている状況にあると改めて院内感染の恐怖を感じました。

派遣先では、全ての病棟がレッドゾーンとしてゾーニングされ、多くの介護度が高い患者が新型コロナウイルス陽性患者として入院していました。私は病棟へ配属され8人の患者を担当しました。高熱や咳、気管切開の処置を受けている患者など多くの患者は自己で喀痰の咯出もできない患者が多く吸引などの処置を頻繁に必要としていました。口腔ケアなどを中心に清潔ケアなども行うため、陰性患者へ伝播しないようにまた、自分への感染にも注意しながらの業務であり、毎日が緊張の連続でした。

派遣先の病院に「健康な自分自身がコロナウイルスの感



派遣先の病院の休憩室にて

染源かもしれない」「健康な自分自身がコロナウイルスを持ち込むかもしれない」と注意喚起をされていました。派遣を終えて今、伝えたいことは、病院には病を抱え、免疫力が低下した患者や介護を

必要とする感染リスクの高い患者が大勢入院しています。実際、新型コロナウイルスに感染していても無症状であることも多く、患者や自分自身、大切な人の生活を守るためにも「ウイルスを院内に持ち込まない」「うつらない・うつさない」を念頭に、一人一人が、新型コロナウイルスを正しく理解し、過剰に恐れず適切な防護・正しい感染予防対策を行うことが必要だと思います。また油断や妥協が院内感染の原因になり拡大となる危険性があるため、再度気を引き締め、緊張感を常に持って院内感染が起きないように取り組んでいきたいと思っています。

市立甲府病院も多忙の中、送り出してくれた病院スタッフ、家族の励ましや協力に改めて感謝するとともに、派遣先の病院をはじめ、すべての皆様に平穏な日々が戻ってくることを切に願っています。



樋口甲府市長へ北海道派遣の報告会

## Thank you!!

### 緊急用PPE(医療従事者向け防護具)が届きました

新型コロナウイルス感染症に係る企業からの寄付金での緊急用PPE(医療従事者向け防護具)配布について、日本看護協会から47都道府県看護協会へ配布がありました。

災害支援ナース派遣時や緊急事態対応のために協会に保存し、活用させていただきます。



防護具	10枚
ガウン	100枚
サージカルマスク	150枚
N95マスク	100枚
パルスオキシメーター	20台
非接触型体温計	9台
消毒用アルコール	70本
ニトリルグローブ	6000枚
マスク(信州大学寄付)	800枚

コロナに  
負けるな  
いま私たちに  
できること

# COVID-19に係る 北海道保健師派遣での活動報告

## <COVID-19 応援派遣に関する概要>

- 令和2年11月2日厚生労働省は「新型コロナウイルス感染症応援派遣活動要領」を制定した。要領では、新型コロナウイルス感染症が感染拡大し、保健所で専門職が不足した自治体は、厚生労働省に保健師等専門職の応援派遣を要請し、厚生労働省では全国都道府県に応援の可否を照会するという手順を定めている。
- この要領に基づき、北海道の要請を受けた厚労省から11月16日保健師等の派遣が可能かと県に照会があり、保健師1名を応援派遣することとなった。
- ・派遣期間：令和2年11月22日～11月28日(6泊7日) ・活動内容：積極的疫学調査(患者への聞き取り等)



山梨県福祉保健部  
健康長寿推進課  
馬場 亜衣奈



江別市



派遣先保健所前で



調査票の確認の様子

11月22日から11月28日の7日間、新型コロナウイルス感染症に係る保健師派遣として、厚生労働省からの要請を受け、北海道江別保健所での活動を行いました。災害派遣の経験がない自分にとって、知らない土地へ1人で赴くことに不安がありましたが、職場の先輩に相談したり、派遣中の担当業務を調整していただき、無事7日間の活動を行うことができました。

私が派遣された江別保健所の管轄市町村は 江別市、石狩市、当別町、新篠津村の2市1町1村で人口約20万人の地域でした。地理的に札幌に近く通勤・通学も可能であることから、これまでも断続的に患者は発生していましたが、札幌市での感染拡大に伴い11月頃から患者が急増している状況にあり、多数の積極的疫学調査等を実施する必要性が生じていました。

管内の医療圏は札幌で、札幌市の病床に依存していましたが、徐々に地元医療機関での受け入れが拡大していました。当時、道央圏は入院医療機関がひっ迫しており、宿泊療養・入院待機者の健康観察、必要時の受診調整(オンライン診療)等が重要でした。

また、宿泊療養施設を増設している最中で徐々に待機者は解消される見込みでしたが、宿泊療養施設に入ることが出来ず自宅で14日間の健康観察を終える方もいました。

私が従事した主な業務内容は、濃厚接触者への健康観察・保健指導、宿泊療養待機者の健康観察・保健指導、電話相談等でした。本県以外に、徳島県や広島県から同様に保健師が派遣されており、協力して業務にあたりました。他県から派遣で来ている保健師と管内の市から来ている応援保健師、保健所の事務職員合わせて5人程度で手分けをして毎日朝から夕方まで電話で健康観察・保健指導を行いました。さらに、その合間に管外保健所から管内に居住し

ている方のPCR検査の依頼があれば対象者に随時連絡を取り、検査の日程調整をしていました。

電話での健康観察・保健指導ではPCR検査は陰性であったものの感染しているリスクのある濃厚接触者の不安の声や、同居家族に感染させてしまうのではないかと心配する自宅療養者の不安の声が聞かれました。そのような方の不安や悩みを保健師が聞き、精神面の支援をしますが、普段の保健師活動とは違い、対面で話をするのが出来ず相手の表情が分からないため、声のトーンや話し方で状態を把握しなければならず、対応に苦慮した場面もありました。しかし、毎日同じ担当者が電話することや、「また明日電話しますね。」と一言、声を掛けることで電話越しでも安心されている様子を感じられました。

日々刻々と変わる状況の中で、多くの対応が生じる中においても、江別保健所の皆さんは多忙な姿を見せず、分からないことがあれば統括保健師や周りの職員に相談できる環境が整っており、派遣職員を受け入れる上で、受援体制が整備されていることの重要性を学ぶことができました。

今回の貴重な経験を職員間で共有し、今後の保健師活動に役立てたいと思います。



福祉保健部長への報告の様子





## 一人一人を大切にしながら 患者に寄り沿う看護を目指しています

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 係長 上田かおり

当院は、回復期リハ病床、療養型病床を有し脳血管障害や各種後遺症に悩む患者様にリハビリテーション医療を365日体制で実践しています。また、がん医療の取り組みとしてサイバーナイフによる放射線治療及びがん患者のリハビリテーションを行っています。

看護部での人材育成の取り組みとして、技能実習制度を利用し令和3年2月よりミャンマーから介護職技能実習生を6人受け入れました。コロナ禍の影響で入国が制限され実習開始が遅れましたが、その後無事に入国前後の研修を終え実習を開始することができました。

技能実習制度とは、我が国の介護の技能、技術、または知識を学び母国へ持ち帰り開発途上国等の経済発展を担う「ひとづくり」「国際貢献」に協力する事を目的とする制度です。この制度を取り入れたことで私達も基本に戻り、教育・指導に力を入れ、一人一人を大切に思いやる気持ちを持ち、異文化に触れたり、実習生のフレッシュなパワー、真面目に学ぶ姿勢に刺激を受けたりしながら、互いに成長できる仲間となれるように日々、頑張っています。

## ワンチームを大切に

忍野村役場 福祉保健課 保健師一同

忍野村は県の南東部に位置し、富士山麓にあります。忍野八海は世界文化遺産である富士山の構成資産です。また、大手企業や自衛隊駐屯地があることから、出生率が高く、高齢化率が低い地域です。

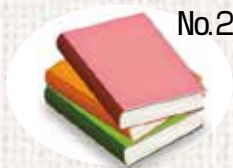
このような村の特性を踏まえ、子育て支援の充実の為に児童福祉と協力し体制づくりをしています。令和3年度から、乳幼児の一時預かり事業の対象年齢引き下げによる拡充や、要支援家庭を対象にした家事支援事業を開始予定です。また、外国人も多く、日本語が困難なベトナム人の支援充実の為、通訳・翻訳事業を実施しています。

保健師は、福祉保健課に4人・地域包括支援センターに1人配置され、共に忍野村保健福祉センターに勤務しています。センターには児童・高齢者・障がい福祉等の職員がおり、保健・福祉の総合的な窓口です。困難事例等は、すぐに関係職員で相談し、各々の専門性を生かして対応しています。これは、日頃から信頼関係が築けているからこそできることだと思います。明るく働きやすい雰囲気は職場の自慢です。今後も連携を大切にして職務にあたりたいです。

## 看護研究は、日常業務の素朴な疑問から

### シリーズ 看護研究 のコツ

No.23



山梨看護学会委員会  
担当/渡辺千恵美  
(身延山病院)

看護研究は、卒後教育または職場の継続教育の一環として多く取り入れられていますが、何をどう進めて良いかわからない、研究したいけれど忙しくてなかなか取り組めない、通常の業務外で研究することに負担感がある等、苦手意識を持っている看護師も多いのではないのでしょうか？看護研究を楽しく進めていくためには、日常業務で感じる疑問や、自分が本当に知りたいと思うことを研究テーマとして見出すことが大切です。普段何となく見過ごしてしまうことでも、「あれ？」「どうしてこうなるの？」「私が実践している看護はこれでいいの？」と思うことがあったら、書き留めておくことも必要です。その中で、類似した研究テーマでの先行研究を調べて、そこからさらに研究で何を知りたいのか、何を明確にしたいのかを絞り込んでいきましょう。例えば「体温測定における腋窩と額での測定の妥当性」「コロナ禍での面会謝絶の状態における入院患者と家族の思い」「アルコールに敏感な看護職の手洗いやによる皮膚障害への工夫」「Web開催の学会に参加した看護職の満足度」など、日常業務の中での素朴な疑問や問題、気になっていることを研究し、実証してみてください。



## ナースのママ・パパ奮闘記

（ 応援してくれる家族とステーションのスタッフや笑顔でむかえてくれる利用者さんを励みに頑張っている中込祐子さんです。 ）

### まわりのみんなに支えられ…

まずほ訪問看護ステーション

中込 祐子



子どもの言葉を支えに…

病院で働いていた私が、訪問看護ができるだろうか…と不安がありました。

まず、療養者さんのお宅へ1人で訪問しケアを行う事、急な判断が必要になる責任の重さ、訪問先の地理の把握も不安でした。また、下の子は小学生であり働きながら子供の学校行事、急な体調不良の時の休暇等を考え入職を悩みました。しかしスタッフの皆さんが地域の方の生活に寄り添っている看護の姿を見て入職を決めました。入職間もないころ、休日に地理を覚えるため子供を車に乗せドライブしたことがあります。そのとき子供が「慌てないで、気を付けてお母さん。仕事頑張って」と声をかけてくれました。今でも時間や気持ちに余裕がない時には、ふとその言葉を思い出します。

まずほ訪問看護ステーションの雰囲気はとても居心地がよく、急な休みの時もスタッフみんなで協力し調整していただけるのでとても助かっています。また、訪問中、急な判断が必要な場面では電話で相談したり、日々の訪問後には情報の共有、連携も密に行えアドバイスももらいとても心強いです。

訪問看護師としてまだまだ未熟な私ですが、周りのサポートに感謝し、療養者さんやその家族の笑顔を励みに自分のペースで働いていけたらと思います。

### 山梨県立

## こころの発達総合支援センターの支援について

子どもの心や発達に関するプロフェッショナルたちによる  
その人に併せた支援の提供をめざして

山梨県子育て支援局  
こころの発達総合支援センター  
阿佐美 優輔



▲診察室(田中所長)



▲相談室



▲集団療育室

こころの発達総合支援センターは、心の問題を抱えた子ども、発達の偏りや遅れなどのあるご本人やご家族、支援者の方々を支援する発達障害者支援センターを内包する機関です。令和2年4月に子どものこころサポートプラザの整備に伴い、新施設に移転し、新体制で業務をスタートしました。対象となる方々の特性等の理解を深め、住み慣れた地域で自分らしく生活することができることを目標に「診察・相談支援・研修普及・地域支援」の4つの柱で業務を推進しています。

新施設に移り、診察室や相談室が増え、心電図や脳波等の検査もセンター内で実施ができるようになりました。また、集団療育室やプレイルームも整備され、各年齢帯の集団プログラムやショートケアもこれまでよりも拡充し、実施しています。

当センターは医師、保健師、心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、PT、ST、臨床検査技師、看護師等、多くの専門職が専門性を発揮している職場です。その中で、保健師としてご本人や養育者に寄り添った相談支援はもちろん、地域の支援体制づくりに資する研修等の人材育成や協議会の開催等、多岐にわたる業務に関わり、職場も明るく、優しい雰囲気の中、毎日楽しく仕事をしています。



センター職員

# 令和2年度 理事会報告

以下のとおり承認されました。

## 第7回 令和3年1月13日(水)

### 協議事項

1. 令和3年度重点事業について
2. 令和3年度理事会・地区支部長役員合同会議等開催について
3. 令和2年度補正予算について
4. 債券の買い換えについて

## 第8回 令和3年2月17日(水)

### 協議事項

1. 令和3年度事業計画について
2. 令和2年度第3回地区支部長と役員合同会議について

## 第9回 令和3年3月10日(水)

### 協議事項

1. 令和3年度事業計画について
2. 令和3年度資金収支予算及び収支予算(案)について
3. 令和3年度地区支部事業計画(案)について
4. 令和3年度地区支部収支予算(案)について
5. 令和3年度常任・特別委員会諮問事項について
6. 令和3年度山梨県看護協会通常総会プログラム(案)について
7. 令和2年度補正予算(案)について
8. 講師謝金及び旅費支給規程の一部改正について
9. 訪問看護ステーション給与規程等の一部改正について

## 山梨県看護協会 INFORMATION



### 公益社団法人 山梨県看護協会

## 令和3年度 通常総会を開催します

＊開催日時 令和3年6月18日(金) 午後1:30～ ＊会場 山梨県看護教育研修センター

2月17日と3月10日の理事会において、令和3年度山梨県看護協会通常総会の開催について協議した結果、令和2年度同様に新型コロナウイルス感染対策を講じ、開催規模を縮小し、参加人数を最小限にして開催することが承認されました。また、職能交流集会は、別日に開催します。ご理解ご協力をよろしくお願ひします。

### 第43回 山梨県看護大会

日時：令和3年5月14日(金) 午後2時～

場所：アピオ甲府タワー館「光華」

- 内容：1. 「看護功労者知事表彰」「県民の看護師さん表彰」  
2. 記念講演会

日々奮闘する看護職へのエール  
「日本とアメリカの看護の違い」

エフエム富士 専務取締役 手塚義人氏

※新型コロナウイルス感染防止対策を講じ人数制限をさせて頂きます。祝賀会は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催しません。

### お気に入り の一枚

ほっと!いやされて...

鬼滅の刃の「禰豆子」を真似している様子がかわいい写真です。



投稿者：小池吉美 (看護協会教育部)  
ロングコートチワワ coccoa 4才

※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ペットに限らずご提供よろしくお願ひします。

送信先：  
senm@yna.or.jp  
広報担当

### 看護協会と看護連盟合同研修会

演題：「事例から考える看護職の法的責任」

日時：令和3年5月25日(火)午後1時30分～ オンラインZoom 研修会

講師：弁護士・看護師 日本看護協会参与

※看護協会ホームページからお申し込みください。

友納 理緒 氏

会場への参加もできます。

### 表紙の【笑顔スナップ】 高原病院



当院は自然豊かな南アルプス市の南側に位置する療養型病院です。

地域に求められる病院を目指しスタッフ一同『笑顔』『優しさ』『まごころ』を基本とし、患者様に寄り添った看護を提供しています。

### 編集 後記

新年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症との戦いも2年目に突入しましたが、ウイルスに負けることなく、戦っていきましょう。

今後とも、会員のみな様に役立つ協会ニュースをお届けできるように務めていきます。ご意見ご要望は随時お寄せください。